

# インフォームド コンセント

## ポリシーステートメント

© World Physiotherapy 2019  
[www.world.physio](http://www.world.physio)



# インフォームドコンセント

WCPT（世界理学療法連盟）は、理学療法士は、理学療法を行う前に必ず、患者／クライアント又は責任ある者（両親、配偶者、パートナー、保護者、介護者など）から適切な同意を確実に得るべきであると考えます。

インフォームドコンセント（注 1）は、患者／クライアントの自主性に関する道徳的および法的な領域に基づいている。患者／クライアントが診断／評価、診断、予後／計画、介入／治療、再診、または研究活動に参加するという決断は、すべての判断能力のある個人が自由に行うことができる。その個人は、必要な情報を受け、その情報を十分に理解し、その情報を吟味した結果、強要、不当な影響、誘導、脅迫などにさらされることなく、その結果に至ったものとする。

患者／クライアント、または（患者／クライアントにその能力がない場合は）彼らの介護者は、検査、評価、診察、予後／計画、介入／治療、再検査、すべての研究への参加を決断する権利を持っている。理学療法士は、その決断に影響を与えようとしてはならない。

コンセントは具体的でなければならず、患者が告知を受け、同意した治療に関してのみ有効であるものとする。コンセントは、患者がその合意内容を取り消すまで、あるいは、患者の状況が変化するまで有効である。必要に応じて通訳を活用する。

理学療法士は、患者／クライアントを教育することはできるが、理学療法士が患者／クライアントの代わりに決定を下すことはできない。インフォームドコンセントは、治療を受けるか拒否するかを選択する個人の自由を守り、個人の自主性を尊重するものである（注 1-4）

判断能力のある個人は、提案された療法に関して、理解可能で適切な情報を受け取る権利がある。この情報には以下の明確な説明を含めなければならない。

- 計画された診察
- 評価、診断、予後／計画
- 予定されている介入／治療
- 介入に伴うかもしれないリスク
- 介入によって得られる可能性のある利点
- 予想されるスケジュール
- 予想される費用
- 提案された介入に対する合理的な代替案

理学療法士は、同意を得る前に、患者／クライアントの上記の内容を理解する能力を確かめるべきである。もし、その個人に判断能力がないとみなした場合、または、患者／クライアントが未成年である場合は、法的後見人又弁護士が、代わりに決定を下す役割を担っても良いものとする。

理学療法士は、インフォームドコンセントを受けた法域で定められているフォーマットで書類を記録しなければならない。（注 5）

チーム内で仕事をしている理学療法士は、検査／評価、介入／治療、研究の前に、適切な同意手続きを経る責任がある。チーム内の他の人間が同意を得ることがあっても、理学療法士は、患者／クライアントが、これから受ける理学療法に関する適切な告知を受けたことを保証する責任がある。

WCPT は、加盟組織に対し、以下の行動を求める。

- 理学療法士は、国および地元が制定するすべての法的手続きに従ってインフォームドコンセントを行う。
- インフォームドコンセントに伴う理学療法士の責任は、理学療法士のエントリーレベル専門教育プログラムの中で重要な項目である。
- インフォームドコンセントに伴う理学療法士の責任は、職業上の基準、行動規範や倫理原則で定められている。

---

[Glossary \(https://world.physio/resources/glossary\)](https://world.physio/resources/glossary)

## Documentation

### Informed consent

### Clinical record

Approval, review and related policy information	
<b>Date adopted:</b>	Originally approved at the 13th General Meeting of WCPT June 1995. Revised and re-approved at the 16th General Meeting of WCPT June 2007. Revised and re-approved at the 17th General Meeting of WCPT June 2011. Revised and re-approved at the 18th General Meeting of WCPT May 2015. Revised and re-approved at the 19th General meeting of WCPT May 2019.
<b>Date for review:</b>	2023
<b>Related WCPT policies:</b>	WCPT ethical principles WCPT policy statements: <ul style="list-style-type: none"><li>• Patients'/clients' rights in physical therapy</li><li>• Ethical responsibilities of physical therapists and WCPT members</li></ul> WCPT endorsements: <ul style="list-style-type: none"><li>• Endorsement: Rights of the child</li><li>• Endorsement: The United Nations standard rules on the equalisation of opportunities for persons with disabilities</li></ul>

---

## References

1. Chartered Society of Physiotherapy. Core standards of physiotherapy practice. London, UK: CSP; 2005. [www.csp.org.uk/publications/core-standards-physiotherapy-practice](http://www.csp.org.uk/publications/core-standards-physiotherapy-practice) (Access date 10 March 2017)
2. Council of International Organizations of Medical Science. Ethical Guidelines for Biomedical Research Involving Human Subjects. London, UK: CIOMS; 2016. <https://cioms.ch/wp-content/uploads/2017/01/WEB-CIOMS-EthicalGuidelines.pdf> (Access date 16 August 2019)
3. European Region of World Confederation for Physical Therapy. European Quality Assurance Standards of Physiotherapy Practice and Delivery. Brussels, Belgium: ER-WCPT; 2008. [www.erwcpt.eu/physiotherapy\\_and\\_practice/standards\\_of\\_practice](http://www.erwcpt.eu/physiotherapy_and_practice/standards_of_practice) (Access date 16 August 2019)
4. World Confederation for Physical Therapy. Policy statement: Research. London, UK: WCPT; 2019. [www.wcpt.org/policy/ps-research](http://www.wcpt.org/policy/ps-research) (Access date 5 September 2019)

© World Confederation for Physical Therapy 2019